

令和2年6月23日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

新型コロナウイルスの感染拡大状況について、先月緊急事態宣言が全国で解除され、今月19日には営業や移動の自粛要請が全面的に解除されたが、一部の施設などでクラスターが発生しているものの全国的な感染の再拡大は今のところなく、ひとまずは安定しているように見受けられる。このまま社会活動を持続させるには、引き続き一人ひとりが高い感染予防意識を持ち、第2波への警戒を怠ることなく社会生活を送る工夫を続けていく必要があると考えている。

今回のコロナショックによる京都経済への打撃は、90年代初頭のバブル崩壊や2008年のリーマンショックと同等か、あるいはそれ以上のインパクトがあり、今までに経験したことがない種類の経済危機であると感じている。

本所が実施した2020年4月～6月期のBSI調査の速報値では、非常に厳しい状況が明らかになった。今期の国内景気BSI値は▲44.6となり、前期の▲30.7から14ポイント近く悪化した。リーマンショックの影響を受けていた2009年1月～3月期が▲45.7、バブル崩壊時となる1992年1月～3月期が▲40.6であり、今回のコロナショックによる打撃はバブル崩壊を超え、リーマンショックと同等の数字となった。

今後の予想については、7月～9月期が▲18.9、続く10月～12月期が▲8.7と、回復傾向にあるものの、感染の第2波、第3波も懸念されており、先を見通しづらいことから、今後も予断を許さない状況であるということに変わりはない。

自社業況BSI値も▲37.9で、前期の▲19.0から18.9ポイントの悪化となった。2009年1月～3月期の▲35.1を上回っており、統計資料が残る1983年以降で過去最低の結果となった。

今後の予想では、7月～9月期が▲20.2、続く10月～12月期が▲8.0と回復基調にあるものの、依然としてマイナス圏での推移であり、決して楽観視できる状況にはない。

付帯調査として、新型コロナウイルスによる今年度の経常利益への影響予想についてヒアリングしたところ、経常利益が「減少する」と答えた事業者が全体の78.8%を占めており、新型コロナウイルスの感染拡大が業種を問わず幅広く影響を与えたことが伺える。

自社が受けている影響については、「営業時間の短縮や休業などに伴う売上や営業活動の減少」が47.2%と最も多く、次いで「外出自粛による来店や利用客減少」、「取引や商談、イベント出展等の延期や中止による損害」が続いている。

コロナショックの特徴は、バブル崩壊やリーマンショックのような構造的な問題とは違い、命にかかわる未知のウイルスに起因しているという点だ。まずは感染防止を徹底するとともに、事業の継続と雇用の維持を最優先課題として、中小企業や小規模事業者を強力に支援していくことが、現段階では必要だと考えている。そして、やがて訪れる需要回復期において、一気に成長軌道に乗れるよう、各企業に今のうちから力を蓄えていただきたい。

京都商工会議所の動き

■本所の雇用支援・人材育成事業について

新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化した3月以降、対面が当たり前であった就職活動が様

変わりし、オンラインによる説明会や面接が導入されるようになっていく。

本所でも、デジタル対応ができていない中小企業に向けて、本所が運営する新卒採用支援サイトにおいて、会社情報の動画による紹介やウェブ面接のサポートなどの支援を行ってきている。さらに7月20日には、30社の企業を集めてウェブ上で合同説明会を実施し、京都企業と学生とのマッチングの機会を設けることとしている。

一方、今までにない環境で採用活動を行う中、学生の意識や就職活動の変化、ウェブ採用でのコミュニケーション不足による早期離職のリスクなど、今までにない様々な課題が出てきている。

そのような状況に鑑み、企業の人事担当者が情報交換を行う「人事最前線ネットワーク」を新しく立ち上げた。本事業では「会員企業同士の情報交換」、「現役学生の就職ニーズの研究」、「大学キャリアセンターとの意見交流」を通じて、ポスト・コロナ社会における採用活動のヒントを得る機会にしていきたいと考えている。

また、本所の人材育成事業「京商ビジネススクール」でも、新入社員研修をはじめ多くの講座を中止せざるを得ない状況に陥っていたが、自前で研修を用意することが難しい中小企業を支援するため、本所が予定していた新入社員研修のダイジェスト版を急ぎよビデオ収録し、Webで配信を行った。6月までに延べ2,000のレビューがあり、オンライン講座に対する関心の高さが明らかになった。

京商ビジネススクールでは、これまでに29の講座を中止したが、感染防止に最大限の注意を払いながら、7月下旬より振替講座を実施することとしている。また、ウェブ会議システムを活用し、集合型研修と同じような研修が受けられる、新しい生活様式に対応した講座を用意することとした。コロナショックにより、これまでの状況が一変しつつある中、企業の将来を担う若い人材の確保・育成を支援し、各企業の事業存続をサポートして参りたい。

記者からの質問事項

■今後、感染の再拡大を見据えて、企業はどのような姿勢で経営に臨むべきだと考えているか。

<塚本会頭>

先日、厚労省から抗体保有率が発表されたが、大阪で0.17%と非常に低く、まだまだ多くの方が感染するリスクがあるということが分かった。新たな感染症がいつ広がるかわからないというリスクを念頭に、企業経営においてもできる限りの備えが必要だと考えている。

今回のコロナショックを体験し、供給網や社内体制など、ビジネスの持続性を高める経営が重要であることを痛感している企業は多いのではないかと考えている。消費者の価値観や行動、社員の働き方などが変わる中、国から発表している「新しい生活様式」に対応したビジネススタイルを普段から作っておくことが重要だ。具体的には、テレワークの導入やインターネット販売など非対面型ビジネスの展開、オンライン会議などコミュニケーションのデジタル化など、ITやデジタル化の推進が必要になってくるので、ぜひしっかりと準備を進めてほしい。

こうした急激な経営環境の変化への対応は、財政的にも人間的にも経営基盤が脆弱な中小企業にとっては一筋縄ではいかない。中小企業の事業を継続させていくためにも、行政にはこうした変化に中小企業がしっかりと対応できるような、積極的な支援を期待している。

また、コロナショックによるこれまでの影響によって経営が急激に悪化した企業に対しては、

一刻も早い資金支援が必要であり、スピード感を重視して施策を進めてほしいと考えている。先般予算が成立した「特別家賃支援給付金」や、特に影響の大きな観光関連産業から期待の高い「Go To キャンペーン」については、透明性を確保したうえで、できるだけ早期に実施できるようにしてほしい。

■観光産業の支援は京都経済の立て直しのために不可欠だと思うが、今後どのように支援を進めていく考えか。

<塚本会頭>

主要ホテルの4月の稼働率はわずか5.8%であり、5~6月がシーズンとなる修学旅行もキャンセルが相次ぎ、祇園祭の山鉾巡行も中止になるなど、観光需要が消失したことで京都の観光事業者は危機に瀕している。当面は海外需要の回復は見込めないと見ており、まずは国内観光の需要を掘り起こす必要があるだろう。

そのためには、事業継続に向けた支援とともに、新しい生活様式に対応した接遇をするための設備投資や人材育成が不可欠であり、事業の継続を最優先課題としながらも、今後の需要回復期を見据えた準備を含め、事業者からのニーズに応じてしっかりと支援していきたい。

同時に、行政からのバックアップも不可欠であると考えており、今後実施される予定の「Go To キャンペーン」については、早期に実施できるよう進めていただきたい。

■京阪神で申請している「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の認定作業が進められているが、京商として認定に向けてどのような取組を進めていくのか。

<塚本会頭>

本所では、今年度から実施している「京都・知恵アントレプレナー支援プログラム『K-CAP』」を通じて、スタートアップ・ベンチャー企業や若い産業人材の育成に取り組み、京都としてスタートアップ・エコシステムを構築し、京阪神での認定に向けて協力していきたいと考えている。

K-CAPでは、新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定していたスタートダッシュは切れなかったが、テレビ会議システムを活用してセミナー等を開始している。今後、先輩経営者から起業のエッセンスを学ぶ「Lunch & Learn Meeting」や、次世代を担う若手起業家を発掘・表彰する「京都起業家アワード」などの事業を通じて、ベンチャーやスタートアップ企業の起業家を強力に支援していきたい。

コロナショックで価値観や生活様式が大きく変わっている。このような時には、新しいニーズや社会課題が数多く生まれるが、それをビジネスチャンスと捉え、知恵を活かして挑戦していく企業を生み出していくことが必要だと考えている。新しい事業の担い手となる起業家を育成するうえで、「K-CAP」事業の果たす役割が今後ますます重要となることから、しっかり取り組みたい。

以 上

定例会頭記者会見



日時：令和2年6月23日(火)15:00～15:30

会場：京都東急ホテル「調の間」(2階)

1. 新型コロナウイルスによる影響について . . . 資料①

2. 本所の雇用支援・人材育成事業について . . . 資料②

以 上

令和2年6月23日
京都商工会議所

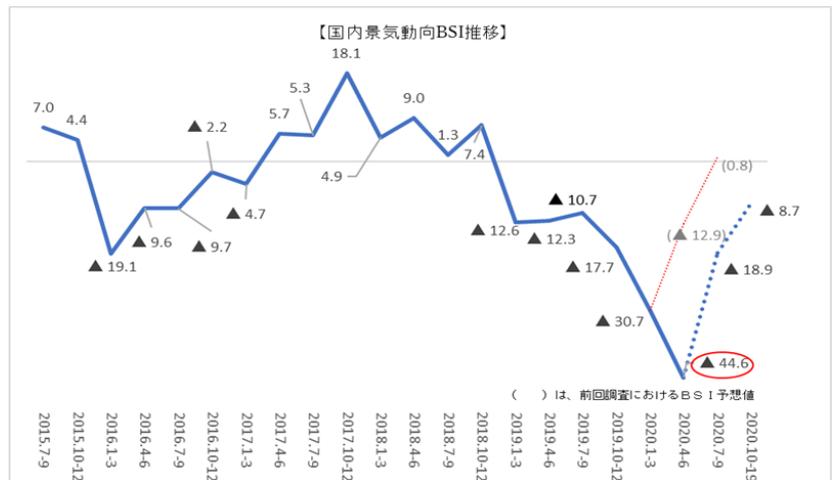
注) 現在、最終の数値を集計中のため、正式な数値は6月26日(金)の午前中に京都経済記者クラブにおいて発表予定です。

1 実績(2020年4月～6月期)と今後の予想

(1) 国内景気動向

① 実績(2020年4月～6月期)

今期の国内景気BSI値は▲44.6(前期実績▲30.7)と、リーマンショック後の2009年1～3月期に過去最低を記録した▲45.7に次ぐ、数値となっている。



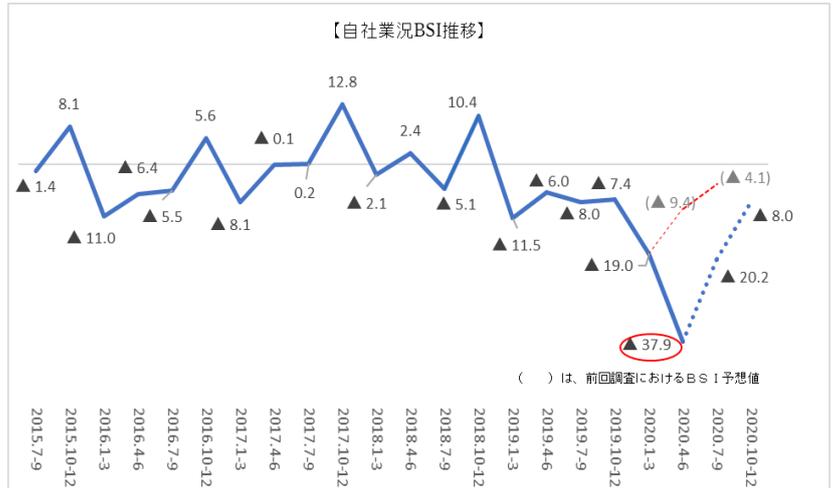
② 今後の予想

7月～9月期が▲18.9、10月～12月期が▲8.7と、マイナス圏での推移で回復していくことが予想され、緊急事態宣言解除後の経済活動再開が徐々に進むことで、次第に持ち直しに向かうことへの期待が、数値に表れているものと思われる。

(2) 自社業況(総合判断)

① 実績(2020年4月～6月期)

今期の自社業況BSI値は▲37.9(前期実績▲19.0)と、2009年1月～3月期に記録した▲35.1を超え、統計資料で確認ができる1983年以降で、過去最低の数値が出ている。



② 今後の予想

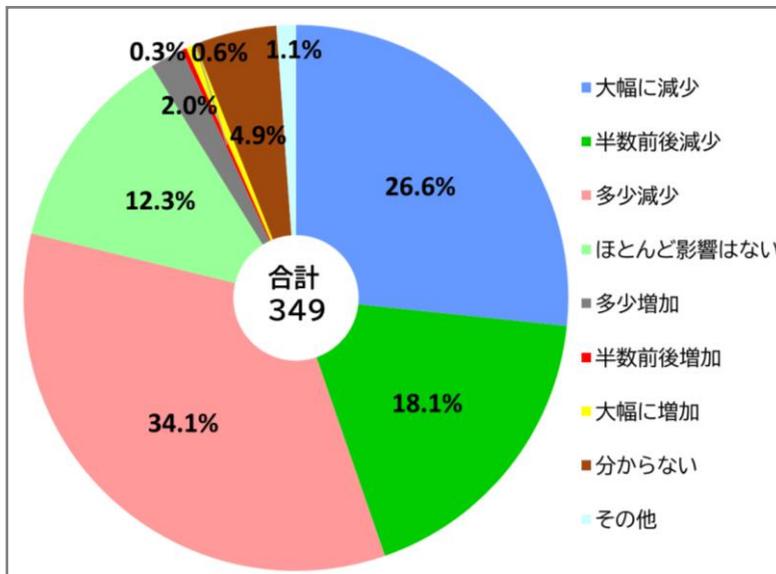
7月～9月期が▲20.2、10月～12月期が▲8.0と、国内景気と同様、回復を期待しているが、新型コロナウイルスの感染第2波、第3波を懸念する声も多く寄せられており、今後も予断を許さない状況にある。

2 付帯調査① 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 新型コロナウイルスの影響により、今年度の経常利益に及ぶ影響予想（単一選択回答）

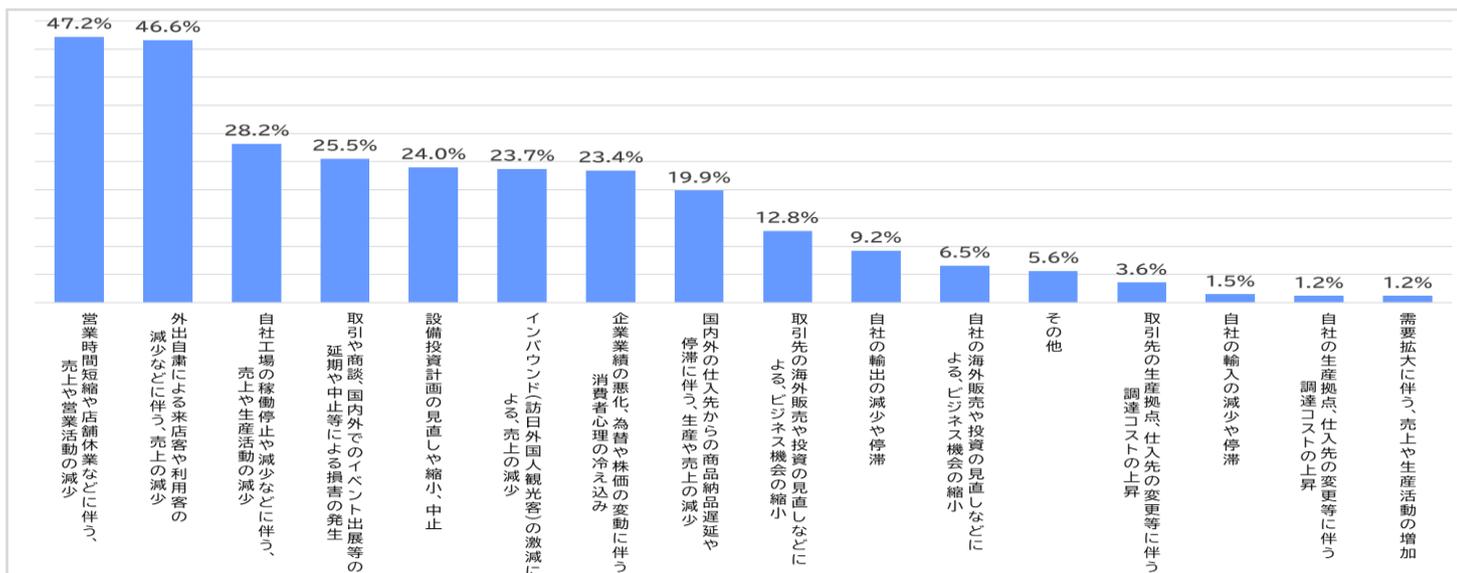
○ 「減少」（「大幅に減少(対前年度比 80%前後)」「半数前後減少(対前年度比 50%前後)」「多少減少(対前年度比 30%前後)」）と回答した企業が全体の 78.8%を占めている。

一方で、「増加」（「大幅に増加」「半数前後増加」「多少増加」）と回答した企業も、2.9%と僅かながらではあるが存在している。



(2) 自社が受ける（受けている）影響について（複数選択回答）

○ 「営業時間短縮や店舗休業などに伴う、売上や営業活動の減少」（47.2%）、「外出自粛による来店客や利用客の減少などに伴う売上の減少」（46.6%）が、それぞれ全体の半数近くを占める結果となった。



<本件に関する問合せ先>

京都商工会議所 中小企業支援部
運営・計画課<担当:篠原、佐藤>
TEL: 075-341-9780

主催：京都商工会議所／協力：株式会社コミュニケーション



「人事最前線ネットワーク」 登録企業を募集します！！

京都商工会議所では、現在の採用に課題やイノベーションの必要性を感じている会員企業を対象に、①会員企業同士の情報交換 ②現役学生の就職ニーズの研究 ③大学キャリアセンターとの意見交換等を取り入れた人事・採用担当者による「人事最前線ネットワーク」を設置します。このネットワークでは、ご登録頂いたメンバーで年間で全5回の定例会を開催し、勉強会や意見交換、情報交換等を行います。人材確保が非常に困難な今、この採用難を乗り越えるヒントを掴む絶好の機会です。

- ・新卒採用をすることになったが、スキームの作り方やポイントがわからない。
- ・自社の新卒採用に課題を感じる、または頭在化している。
- ・オンラインの活用など、様々な選考手法を先事例から学びたい。



このような課題を抱えている企業の皆様は、ぜひご登録ください！！

第1回例会（キックオフWEBセミナー）を開催します！

◆日時 2020年6月29日（月） 16:00～17:30

◆場所 WEB上にて開催（ZOOMを使用します）

※事前にZOOMのダウンロード及びサインイン（無料）をお願い致します。
※視聴用URLは、事前にメールでご案内致します。

◆内容 ～自社の採用をリ・デザインする～

①自社の採用における本質的な課題を見直す

- ・コロナショックが就活生や支援側に及ぼした影響～オンライン化がもたらしたこと
- ・アフターコロナの採用活動に何が必要か～就活生の視点より

②採用活動の事例紹介

講師：株式会社たけでん 取締役専務執行役員 兼 管理本部長 那須 耕三 氏
同 人事部 主任 岡村 遼一 氏

③今後のご案内

◆モデレーター 株式会社コミュニケーション 代表取締役 濱中 倫秀 氏

【プロフィール】

（株）コミュニケーション代表取締役／成安造形大学特任准教授・キャリアセンター長
京都の中小企業にて営業職を経て人事・採用に従事。28歳の時に独立し、2006年に（株）コミュニケーション創業。近畿を中心に、首都圏も含めた大学での就職支援講座・講義多数。現在、年間で300以上の講義やワークショップに登壇中。多くの就職活動生と最前線で関わった経験を生かし、自社の事業として採用に苦勞する中小企業への採用コンサルティングも行っている。

参加者同士の
情報交換等も
行います！

◇ご登録はこちら ⇒ <http://www.kyo.or.jp/s/113604>

※「人事最前線ネットワーク」にご登録を頂いた方には、次回以降の例会の詳細やその他雇用支援事業等の案内について直接情報提供させていただきます。

※ご登録後の各例会の参加は必須ではございません。各回ご案内時にご出欠についてお伺いします。

【お問合せ】京都商工会議所 会員部 共済・雇用労務支援課 岩尾・小林（TEL：075-341-9763）



京商ビジネス オンラインスクール

これからの時代に求められる Zoom 活用術を学ぶ

POINT

会社や自宅から受講可能

効果的な演習で即実践できる研修内容

オンライン研修で実績のある講師陣



京商ビジネスオンラインスクールとは・・・

Web 会議サービス「Zoom」を活用することで、集合型研修と同じような研修を受けることができます。新しい生活様式に対応した環境でご受講いただけます。

コース

Aコース 7月31日(金) 9:30~16:30 Web 商談で結果を出す営業強化セミナー

Bコース 8月24日(月) 9:30~16:30 Web 環境で生産性を高める自己管理術セミナー

Cコース 9月25日(金) 9:30~16:30 チーム力を引き出す Web 会議運営術向上セミナー

申込方法

京商ビジネススクール

で

検索

(URL <https://www.kyo.or.jp/jinzai/>)



注意事項

- ・本研修では Web 会議サービス「Zoom」を活用します。インターネット環境及び、PC (Zoom インストール済・カメラ機能付き) を各受講者でご準備頂きますようお願いします。
- ・スマートフォンでご受講されると、講師の板書などが小さくなります。そのため、PC での受講を推奨します。
- ・通信料金は受講者でご負担願います。

お問合せ

京都商工会議所 会員部 研修事業課 TEL:075-341-9762 e-mail jinzai@kyo.or.jp

A コース 今求められている新たな営業術！



Web 商談で結果を出す営業強化セミナー

Zoom などを使いこなし、売上を伸ばす

研修目的

- (1) リアル商談とオンライン商談の違いや課題と利点を理解する
- (2) Web 商談の進め方、顧客の意見の引き出し方を学ぶ
- (3) 商談の前と後に行うべきフォローの重要性を身につける

日時 2020年7月31日(金)
9:30~16:30

講師

株式会社Smart Present 代表取締役
プレゼンコンサルタント・人材育成コンサルタント
新名 史典氏

受講料 京都商工会議所会員 19,800 円 (税込) (税込)
一般 29,700 円 (税込) (税込)



サラヤ(株)にて15年従事した後、2011年に独立起業。人や組織の協力を得ることのポイントをプレゼン力、チームビルディング(部下力含む)、企画開発力と定義し、企業研修・セミナーでフル回転している。会社員時代に全員年上部下を持つという特殊な環境や多くのプロジェクトを指揮したという豊富な経験が研修に大いに活かされている。

受講方法 Zoom でご受講頂きます

※後日に発行する受講証にご参加いただくためのURL等をお知らせ致します

1. オンラインとリアルの違いを理解する！

- (1) Web 会議システムの使い方に慣れよう
- (2) 今日みなさんが知りたいこと！ 【ワーク】
- (3) オンラインはここがリアルと違う

2. オンライン営業の事前準備

- (1) 限られた時間を有効に活用する事前準備
- (2) あらかじめ内容と質問事項を共有する【ワーク】
- (3) 相手の環境も事前に把握すべき重要要素

3. ファシリテーション力を

発揮して商談を進める 【ワーク】

- (1) 名刺交換の代わりにどのようにするのか？
- (2) 話し方、伝え方の工夫
- (3) 非言語コミュニケーションがより重要に！
- (4) 相手の意見を引き出すための配慮

4. Web 商談をやってみよう！

- (1) 初回訪問のケースでやってみよう！ 【ワーク】
- (2) 相互フィードバックと全体共有 【ワーク】
- (3) 今後の成長のためのトレーニング法

5. 商談後のフォローと資料の活用を工夫する

- (1) リアルよりも共通認識を確認することが重要
- (2) 移動時間がないことを活用して即メモ送付
- (3) オンラインでは資料の力がもろに出る！【ワーク】

6. 環境を整えることも商談の要素

- (1) 自分の見え方を相手目線で理解する
- (2) どんな工夫ができるしょう？ 【ワーク】
- (3) 本講座の振り返り&全体共有 【ワーク】

お申込み・お問合せ/京都商工会議所 会員部 研修事業課

webサイトからお申込み下さい。

▶ 京商ビジネススクール で 検索

(URL: <http://www.kyo.or.jp/jinzai/>)

※FAXでお申込みされる場合は、本冊子内の「申込用紙」をご利用ください。

ご不明な点等ございましたら下記までお問合せ下さい。

▶ TEL: 075-341-9762

▶ e-mail: jinzai@kyo.or.jp

▶ 所在地: 〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入



お申込み後、セミナー1週間前までに下記口座にお振込み下さい。振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。

お振込は申込会社名もしくは受講者名にてお願い致します。

▶ 京都銀行 本店営業部
(普) No.5017759
口座名: 京都商工会議所
研修口

B コース オンラインで仕事をスムーズに進めるために



Web環境で生産性を高める自己管理術セミナー

変化に対応するマネジメント力を磨く！

研修目的

- (1) 変化に対応してリーダーシップを発揮する
- (2) Web環境のストレスをうまく乗り切るための対処方法を得る
- (3) オンラインで必要な時間管理・仕事の進め方のポイントを学ぶ

日時 2020年8月24日(月)
9:30~16:30

講師

バランスコミュニケーション 代表
自律型人材開発コンサルタント

服部 裕子氏



ファッション・テーマパーク・人材ビジネス業界にて、
店長・採用・人材開発・組織風土改革に従事。その後、
大学等の教育機関にてキャリア開発に携わる。現在は、
主体性を引き出し、自律したキャリアを築き自己成長
できる「自律型人材育成」と、個人と組織のニーズの
調和を図り、個人と組織の成長を促す「個人と組織の
活性化」を念頭においたコンサルタントとして活動中。

受講料 京都商工会議所会員 19,800円 税込
一般 29,700円 税込

受講方法 Zoomでご受講頂きます

※後日に発行する受講証にご参加いただく
ためのURL等をお知らせ致します

1. 自分のベースを整えよう 【ワーク】

- (1) Webを活用した新たな業務に慣れよう
- (2) 今の不安・悩み・困っていることを整理する

2. 新たなWeb環境で私たちに求められること

- (1) どのような能力が必要となるのか? 【ワーク】
- (2) 自立・自律するマインド・スキル
- (3) 新たなリーダーシップで仕事に取り組む

3. 自らを律するためのタイムマネジメント術

- (1) タイムマネジメントの目的とは
- (2) 目標達成に向けた事柄を管理する
- (3) あなたならどうする? 【ケーススタディ】
- (4) 時間管理・効率良く仕事を進めるためのコツ

(5) 仕事の優先順位、やらないことを決めよう

4. Web上で求められる新たなコミュニケーション術

- (1) 良き信頼関係がスムーズにする 【ワーク】
- (2) 「業務進捗状況」「教えて!」「助けて!」
を自ら発信する 【ワーク】

5. 新たなWeb環境で生じるストレスへの対処方法

- (1) あなたの心や身体のスOSは?
- (2) ストレス要因とストレスのメカニズム
- (3) 《認知を変える》ストレスに強い捉え方 【演習】
- (4) 《行動を変える》マネッコストレッチ 【演習】
- (5) リーダーとして
グループメンバーをサポートする

6. 変化への対応力アップのための行動宣言

お申込み・お問合せ/京都商工会議所 会員部 研修事業課

webサイトからお申込み下さい。

▶ 京商ビジネススクール で 検索

(URL: <http://www.kyo.or.jp/jinzai/>)

※FAXでお申込みされる場合は、本冊子内の「申込用紙」をご利用ください。

ご不明な点等ございましたら下記までお問合せ下さい。

▶ TEL: 075-341-9762

▶ e-mail: jinzai@kyo.or.jp

▶ 所在地: 〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入



お申込み後、セミナー1週間前までに
下記口座にお振込み下さい。

振込手数料はご負担頂きますようお願い
致します。

お振込は申込会社名もしくは受講者名
にてお願い致します。

▶ 京都銀行 本店営業部
(普) No.5017759
口座名: 京都商工会議所
研修口

C コース オンライン時代の新たなコミュニケーション



チーム力を引き出す Web 会議運営術向上セミナー

Zoomなどを味方に会議を活性化させる

研修目的

- (1) Web 会議をスムーズに進めるためのポイントを学ぶ
- (2) Web だからこそ求められる表現方法を身につける
- (3) 誰もが意見を言いやすくなるコミュニケーション力を高める

日時 2020年9月25日(金)
9:30~16:30

講師

株式会社チェンジ・アップ 代表取締役
ビジネススピーチコンサルタント
荒尾 千春氏

受講料 京都商工会議所会員 19,800円 (税込)
一般 29,700円 (税込)



博士(政策科学、同志社大学)。オムロンのグループ企業で役員秘書を経験後、テレビ局のアナウンサーとして勤務し、フリーアナウンサーとなる。担当番組は1600本以上。現在は、学術理論や実務経験をベースに、大学の非常勤講師及び各企業での研修講師としてコミュニケーション、コーチング、プレゼン、CS向上、ダイバーシティ研修など年間200回を超えるセミナーを手掛ける。

受講方法 Zoomでご受講頂きます

※後日に発行する受講証にご参加いただくためのURL等をお知らせ致します

1. Zoomを活用してみよう 【ワーク】

- (1) 主な機能の使い方
- (2) チャットやアンケート機能にチャレンジ
- (3) グループに分かれてアイスブレイク

2. リアルとオンラインの会議の共通点と相違点

- (1) Web 会議での困りごと 【ディスカッション】
- (2) 共通して意識すべきことや準備すべきこと
- (3) Web ならではの工夫の必要性

3. スムーズな Web 会議に欠かせないこと

- (1) 参加しやすい環境づくり
- (2) ファシリテーターの役割
- (3) グループセッションでの明確な役割分担

4. Web 会議に必要な豊かな表現力 【ワーク】

- (1) 相手に伝わる表情
- (2) メリハリの効いたポイントがわかる話し方
- (3) 端的に伝わりやすい話

5. 誰もが意見を言いやすくなるコミュニケーション術

- (1) アサーティブな聴き方 【トレーニング】
- (2) アサーティブ話法を
使った意見の伝え方 【トレーニング】

6. 予想不可能な時代を
乗り切れるチーム力を高めるには 【ワーク】

- (1) 相手を認め合うことで生まれる相乗効果
- (2) お互いに補い合う「得意な分野で活躍」

7. 行動宣言 【ワーク】

お申込み・お問合せ/京都商工会議所 会員部 研修事業課

webサイトからお申込み下さい。

▶ 京商ビジネススクール で 検索

(URL: <http://www.kyo.or.jp/jinzai/>)

※FAXでお申込みされる場合は、本冊子内の「申込用紙」をご利用ください。

ご不明な点等ございましたら下記までお問合せ下さい。

▶ TEL: 075-341-9762

▶ e-mail: jinzai@kyo.or.jp

▶ 所在地: 〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入



お申込み後、セミナー1週間前までに
下記口座にお振込み下さい。

振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。

お振込は申込会社名もしくは受講者名にてお願い致します。

▶ 京都銀行 本店営業部
(普) No.5017759
口座名: 京都商工会議所
研修口